



6. すごろくの感想を話す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろくの感想だけでなく、「いいところ」を言えたり、言われたりしたことの感想を押さえておく。</li> </ul>	
7. 「いいところ」を発表する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一番にできたこと」や「上手にできること」だけにならないように、精神的な「よさ」について、意図的指名を行い、発表させる。</li> <li>※今後の活動に生かせるよう、まとめた内容を後日模造紙にまとめておく。</li> </ul>	
8. 「よさ」について知り、課題意識をもつ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出された意見をもとに、「いいところ」を「よさ」という言葉に置き換え、「自分のよさ」について説明された用紙を掲示し、「よさ」は自分が自分のいいなあと思うところにあることや一番にできることや上手にできることだけではないことを伝える。</li> <li>・「生き生きノート」を配布し、空欄のページに「自分のよさ」について書き込まれていくことを知らせ、課題意識を持たせる。</li> </ul>	<p>十分満足できると判断されている状況          &lt;関・意・態&gt;          日常生活に見られる「よさ」をいろいろ出している。          (観察、「生き生きノート①」)</p>
9. 今日の授業の感想を書く。	5		

5 評価

自他のよさをお互いに出し合い、日常生活に見られる「よさ」を幅広く見つめ直せたか。

# 道徳学習指導案①

平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇校時  
第3学年 指導者 〇〇〇〇

1 主題名 自分らしさ 【新学習指導要領 内容項目1ー(5) 個性伸長】  
(資料名) しょうぼうじどうしゃ じふた  
<渡辺茂男 作 山本忠敬 絵 福音館書店>

2 ねらい  
「よさ」を発揮したときの気持ちを考え、「よさ」を発揮する心地よさに気付く。

3 主題設定の理由  
(1) ねらいとする価値  
「よさ」というのは、他者との比較で感じられる「よさ」と優しさのように心で感じる「よさ」がある。それらのよさが自分の中にあることが分かったとき、嬉しさや誇らしさを感じるようになるであろう。その自分のよさを大切にしようとする心情をもつことは、子ども達がこれからの生活を自分らしく生きようとするときの大きな力になると考える。

(2) 資料について  
本資料は、絵本として構成されている。主人公である小さな消防自動車は他と比べて見劣りがするため自信を失っているところへ山火事が起こる。主人公のよさである小さいという機動性を生かし、消火活動を行い自信を取り戻すという内容である。主人公の前向きな気持ちに共感させたい。

4 準備  
教師：「生き生きノート②」、「しょうぼうじどうしゃ じふた」の絵本、場面絵ポイントカード  
子ども：「生き生きノート」

## 5 展開

学習活動（主な発問）	予想される児童の反応	時間	支援及び留意点
1. 最近、ほめられたことやその時の気持ちについて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言われなくても宿題が終わっていることを家の人にほめられた。</li> <li>・校長先生に、そうじが丁寧だねって言われた。</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を出させるために、事前に「生き生きノート」に書かせておく。</li> <li>・書かれている内容を予め把握し、意図的支援に役立てる。</li> </ul>
2. 資料「しょうぼうじどうしゃ じふた」を聞き、話し合う。  ・どんな主人公ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古いジープの消防自動車</li> <li>・はたらきもの</li> <li>・小さいうちが火事になると消す。</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み聞かせは教室の後方で行う。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             自分がとってもちっぽけで、みにくく思われて、かなしくなったのは、どうしてでしょう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車や救急車は自分と比べてすごいなあ。</li> <li>・自分はだめだなと思っている。</li> <li>・みんなが言ってくれない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さくても働き者の主人公が周りと比べて、自信を失っていく気持ちに気付くよう、切り返しの発問を行う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の「ちびっこでも、すごく せいのがいいんだぞ」という言葉を聞いて、『じふた』はどんな言葉を子ども達にかえすでしょう。</li> </ul>	<p>から、だめだと思っているじゃないのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小さい火事は消せるけど、高いビルやあつい火をけしたりできないから。大きなことができないから。</li> <li>ありがとう。</li> <li>うれしいな。</li> <li>山火事が起きたら、次も頑張るぞ。</li> <li>ぼくのよさは、山火事を消せることだよ。</li> <li>よさを思い出したぞ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>じふたが悲しむ気持ちに共感させる。</li> <li>自分の考えを「生き生きノート」に書き、自分を見つめるための時間を充分とる。</li> <li>『じふた』が自信を取り戻していく理由が「よさ」とつながるように働きかける。</li> </ul>
<p>3. 本時の学習のまとめる。</p> <p>4. 家に帰り、今日の学習内容を家族に話し、話した内容を「生き生きノート」に書くことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさを発揮できるといいな。</li> <li>家族に知らせよう。</li> </ul>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自分のよさ」についても合わせてまとめるよう説明する。</li> <li>「生き生きノート」を持ち帰り、前時の内容も一緒に話し合い、その内容を「生き生きノート」に書いてくることを知らせる。</li> </ul>

6. 評価

「よさ」を発揮したときの気持ちを考え、「よさ」を発揮する心地よさに気付いたか。

7. 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">場面絵</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとう</li> <li>・ うれしいな。</li> <li>・ また、山火事が起きたら、火を消すぞ。</li> <li>・ ぼくのよさは、山火事を消せることだよ。</li> <li>・ よさを思い出したぞ。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">場面絵</div> <p>自分がとってもちっぽけで、み のには、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はしご車や消防自動車は、自分と比べてすごいなあ。</li> <li>・ 自分はだめだなと思っている。</li> <li>・ みんなが言ってくれないから、だめだと思っているじゃないのかな。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">登場人物</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジープのしょうぼう自動車</li> <li>・ はたらきもの</li> <li>・ 小さいうちが火事になるとけす。</li> </ul> <p style="text-align: right;">しょうぼう自動車 じふた</p>
---	--	--

## 道徳学習指導案②

平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇校時  
第3学年 指導者 〇〇〇〇

1 主題名 友だちのよさ 【内容項目2ー(3)友情】  
(資料名) ひと言 <自作資料>

2 ねらい  
よさを伸ばすためには、周りの人とのかかわりが大切だということに気付き、友だちのよさを見つけ合い、伝え合おうとする意欲をもつ。

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

児童の集団意識の高まりが見られ、自主性が増してくる時期である。いくつかの集団に分かれ、気の合う仲間とそれ以外という分離が子ども達の意識の中に存在してくる。そこで、相手を思いやるとともに相手のよさを見つけていこうとする心情を育てることは、よりよい人間関係の構築に必要なことであり、その中で「よさ」を感じる機会が増えると考ええる。

(2) 資料について

本資料は、自作の資料である。体育の時間の合同体育のサッカーで走ることが得意なたかしが、意気揚々とゲームを楽しんでいたがオウンゴールをしてしまい、自信をなくして意気消沈してしまう。後半のゲームが始まると、味方のゴールキーパーが負傷してしまい、代替りのキーパーがなかなか決まらない。すると、同じクラスのよし子さんが「小さいけど力があるわ。キーパーをやってみなさいよ。」と声をかけ、たかしがやる気を出して、キーパーになり自信を取り戻していくという内容である。友だちからの励ましで自分のよさに気付き、やりとげた主人公の気持ちに共感させたい。

3 準備

教師：「生き生きノート③」「生き生きノート～友だちからのプレゼント～」  
ひと言を抜粋した用紙、付箋紙  
子ども：「生き生きノート」

4 展開

学習活動（主な発問）	予想される児童の反応	時間	支援及び留意点
1. 家の人や友だち、先生から言われてうれしかったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐろくで、やさしいと言ってくれた。</li> <li>・ 転んだとき大丈夫と声をかけてくれた。</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなときに言ってもらったのか、気持ちと合わせて発表させる。</li> </ul>
2. 資料「ひと言」を読んで、話し合う。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽く手を挙げ、走り出したたかしさんは、どんなことを考えたでしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日こそ、勝つぞ。</li> <li>・ 一点決めてやる。</li> <li>・ 相手に追いつかれないように走るぞ。</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のよさを生かしてゲームに参加しようとするたかしの気持ちに気づかせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつものように走り出さないたかしさんは、どんなことを考えているのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、失敗するのがこわいな。</li> <li>・ 走らないで、味方にパスするだけにしよう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 失敗し、自信を失い、やる気のでないたかしの気持ちに共感できるよう助言する。</li> </ul>

<p>よし子さんとえがおで、顔を見合わせているたかしさんは、どんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よし子さん、ありがとう。</li> <li>・よし子さんのおかげだよ。</li> <li>・よし子さんはぼくのことちゃんと見ていてくれたんだうれしいな。</li> <li>・今度は、よし子さんのよさをさがすよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを「生き生きノート」に書き、自分を見つめるための時間を充分とる。</li> </ul>
<p>3. 今日の学習で分かったことや思ったことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙にたくさん書いてみよう。</li> <li>・休み時間にみつけてみよう。</li> </ul>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのよさを見つけることは、友だちがよさを伸ばすことの助けとなることを気付くよう助言する。</li> </ul>
<p>4. 「いいとこさがし」について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙にたくさん書いてみよう。</li> <li>・休み時間にみつけてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいとこさがし週間」では、生活の中で友だちのいいところが見つかったら、付箋紙に書いて自分の「生き生きノート」の袋の中に入れておき、週2回の帰りの会に友だちに渡すことを知らせる。</li> </ul>

5 評価

よさを伸ばすためには、周りの人とのかかわりが大切だということに気付き、友だちのよさを見つけ合おうとする意欲がもてたか。

6 板書計画

ひと言

- ・たかしさん
- ・よし子さん

- ・よし子さん、ありがとう。
- ・よし子さんのおかげだよ。
- ・よし子さんはぼくのことちゃんと見ていてくれたんだうれしいな。
- ・今度は、よし子さんのよさをさがすよ。

よし子さんとえがおで、顔を見合わせているたかしさんは、どんなことを考えたでしょう。

- ・また、失敗するのがこわいな。
- ・走らないで、味方にパスするだけにしよう。

- ・今日こそ、勝つぞ。
- ・一点決めてやる。
- ・相手に追いつかれないように走るぞ。

いつものように走り出さな  
いたかしさんは、どんなことを  
考えているのでしょうか。

軽く手を挙げ、走り出した  
たかしさんは、どんなことを  
考えたでしょう。

# 総合的な学習の時間学習指導案①

平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇校時  
第3学年 指導者 〇〇〇〇

- 1 題 材 〇〇小ウォークラリーをせいこうさせよう
- 2 本单元にかかわるねらい  
これまでに気付いたよさを生かして、ウォークラリーの役割分担をし、ウォークラリーをしようとする。
- 3 準備  
教 師：「生き生きノート④」、ウォークラリーの内容について書いた用紙、係の表、学級活動の時間のまとめた掲示物、ふれあい集会の写真、自分のめあての例文。  
  
子ども：「生き生きノート」
- 4 展開

児童の活動	時間	支援及び留意点	評価項目（方法）
1. ふれあい集会の高学年の様子や2年の生活科のフェスティバルのことを想起し、発表する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ分けを済ませ、班ごとに座っている。</li> <li>・事前に2年生時のフェスティバルについて書かせておく。</li> <li>・児童が思い出せるように高学年の活躍場面の写真を用意しておく。</li> <li>・自分達が楽しんで取り組めた理由について触れる。</li> </ul>	
2. ウォークラリーの内容を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリーについては、内容が書かれた掲示物を用意する。</li> </ul>	
3. 2年生を招待し楽しませるための係について話し合い、役割分担を決め、「生き生きノート」に書く。	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の係（司会・親切）を例にして、それぞれの係の活動内容と「よさ」を関連させる。</li> <li>・それぞれの得意分野が生かせるように、お互いに教え合いながら、話し合いを進めるよう助言する。</li> <li>・「自分のよさ」については、10/14の学級活動の時間にまとめた内容を掲示すると共に、「生き生きノート」を振り返るよう促す。</li> <li>・主だった係について書かれた表を掲示し、よさは感じているが生かし方がわからない子に対して支援を行う。また、よさがないと感じている子に対しては、前もって係を考えておき知らせる。</li> <li>・「こんな係があったらいいな。」という考えをもとに、子どもたちに自由に発想させ、係名も自分たちで考</li> </ul>	<p>○努力を要する児童への手立て</p> <p>担任は、よさが生かせる係を考えておき、助言する。</p> <p>十分満足できると判断されている状況</p> <p>&lt;思考・判断&gt; 自分のよさを考慮した役割分担ができてきている。 (観察、「生き生きノート」)</p>

		えるよう知らせる。
		・活動の計画を立てやすいよう、総合的な学習の時間に行ったネイチャーゲームを思い出すことを助言する。
4. 班ごとに決まった役割を発表する。-----		・班の活動内容を知らせるとともに、班員の役割を確認する。-----
5. ○○小ウォークラリーに向けて、自分のめあてを「生き生きノート」に書く。	10	・子どもたちが「よさ」に着目できるよう、例文を示す。
6. 次時について知る。		

## 5 評価

○○小ウォークラリーに向けて、小グループで話し合ったことで、班員それぞれのよさを生かした役割分担を行い、ウォークラリーをしようとする意欲がもてたか。

## 6 資料

主な係名

いいところ (よさ)	係名
やさしい	しんせつがかり
大きな声	せつめいがかり しかい
時間にせいかく	計時がかり
虫がすき	虫さがし
絵が上手	せつめいの絵
文を書く	説明文
本をたくさん読める	図書室で調べ
足が速い	材料集め



## 総合的な学習の時間学習指導案②

平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇校時  
第3学年 指導者 〇〇〇〇

- 1 題 材            〇〇小ウォークラリー
- 2 本单元にかかわるねらい  
ウォークラリーを行い、自分の役割を果たすことで、自分のよさを実感する。
- 3 準備  
教 師：「生き生きノート⑤」、ウォークラリーで使うもの  
子ども：「生き生きノート」
- 4 展開

児童の活動	時間	支援及び留意点	評価項目（方法）
<b>学年の合同活動</b>			
1. 全体で集まって今日の学習の流れを確認する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後は、各グループに別れて活動することを知らせるとともに、自分自身の役割について確認させる。</li> <li>・時間の流れを確認するとともに、安全面での配慮をはかるように助言する。</li> <li>・自分の行うことを明確にするために、「生き生きノート」に書いてある役割分担表で自分の役割を確認するよう促す。</li> </ul>	
2. グループに分かれてウォークラリーを行う。	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループでは、自己紹介を行いグループごとの本時の流れを確認させる。</li> <li>・担任は各班を回りながら、「自分のよさ」を出している子に対して声かけを行う。</li> </ul>	
3. ウォークラリーについての班で話し合う。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いてできるよう教室で行う。</li> <li>・ウォークラリー時の自分の活動とそれに対する感想を一緒に言わせる。</li> <li>・「自分のよさ」や「友だちのよさ」の成功体験を語り合う場となるように声かけをする。</li> </ul>	<p>○努力を要する児童への 手立て</p> <p>友だちから言われたことを思い出し、ノートに書くように促す。</p> <p>十分満足できると判断されている状況</p> <p>&lt;知識・理解&gt; 自分のよさを気付く。 (観察、カード)</p>
4. 本時の学習で思ったことや考えたことを書く。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリーだけでなく、「自分のよさ」についての思いや考えを「生き生きノート」に書くよう促す。</li> </ul>	

--	--	--	--

5 評価

校庭を使ったウォークラリーを行い、2年生と交流しながら、自分の役割を果たすことで、自分のよさを実感することができたか。

# 道徳学習指導案③

平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇校時  
第3学年 指導者 〇〇〇〇

1 主題名 これからの自分 【新学習指導要領 内容項目1ー（5）個性伸長】  
（資料名）各自の「生き生きノート」

2 ねらい

自分のよさを見つめ直し、これから自分のよさを伸ばしていこうとする意欲をもつ。

3. 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値

自分の「よさ」を発揮すると、他の人から喜ばれたり、心地よさを感じることをこれまでの活動から子どもたちは感じてきた。これからの自分が、「よさ」に気づき発揮したり、大切にしたりすることは、生き生きとした生活を送るために必要なことであることが分かり、これからの自分について考えさせていく。

（2）資料について

ウォークラリーの体験及び2年生から手紙を資料とする。この資料を使った話し合いの中で、「よさ」を発揮できたことだけでなく、発揮できなかったことも取り上げ、取り組もうとしたという気持ちやこの次もやってみようという考えをもつことが大切であることに気付かせていく。「生き生きノート」の中には、児童の各々の「よさ」が書き込まれており、それを振り返ることで、自分自身の成長を感じることができ、これからも自分の「よさ」を実践していこうとする意欲を育てていくことができると思う。

4 準備

教師：「生き生きノート⑥」、「3年〇組のみんなのよさ」の書かれている用紙、  
ゲストティーチャーの話のポイントカード  
子ども：「生き生きノート」

5 展開

学習活動（主な発問）	予想される児童の反応	時間	支援及び留意点
1. ウォークラリーに招待した2年生から来た手紙を感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カモフラージュの説明が分かった。」と書いてくれたよ。うれしかったよ。</li> <li>・「司会の声をはっきりと聞こえた。」と書いてあったよ。自分も頑張ったつもりだったから、うれしかったよ。</li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に喜んでもらえた達成感について触れる。</li> <li>・表記よりも内容についての感想を話すよう促す。</li> </ul>
2. ウォークラリーを振り返る。  ◎2年生が喜んでくれたのは、どうしてだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちががんばってやったからではないか。</li> <li>・ウォークラリーが楽しかったからではないか。</li> <li>・自分の「よさ」は声の大きなところだと思います。大きな声でウォークラリーの司会ができました。</li> <li>・あまり2年生が来なかったので、説明ができなかった。</li> <li>・この次も司会をがんばり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの行いが人を喜ばせることになったことに気付かせる。</li> <li>・「よさ」のイメージをしやすいように、「生き生きノート」から抽出した日常の中に見られる「よさ」を一覧表にして掲示する。</li> </ul>

<p>3. 「よさ」が発揮できなかった例をあげて、考える。</p> <p>4. ゲストティーチャーの話聞く。</p>	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんって本を読むことが好きだったんだ。自分と同じだ。</li> <li>・自分のいいところ生かして、がんばって取り組んでいるなんてすごいな。</li> </ul>	<p>2 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組もうとしたという気持ちやこの次もやってみようという考えをもつことが大切であることに気付くよう助言する。</li> <li>・児童が内容を十分理解できるよう、小さい頃からのことをゆっくり順を追って話していただく</li> <li>・自分の考えをまとめるときの参考になるように、話した内容のポイントを黒板に板書する。</li> </ul>
<p>5. 4年生になる自分へのメッセージを「生き生きノート」に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのころも漢字を丁寧に書いているかな。</li> </ul>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生き生きノート」は、4年生になって振り返るように、「心のノート3・4年生」に挟み、次年度に引き継ぐ。</li> </ul>

#### 6. 評価

自分のよさを見つめ直し、これからの生活の中で自分のよさを発揮しようとする実践意欲をもつことができたか。

#### 7. 板書計画

<p>◎○○さんの話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日読んでもあきないくらいに読み続けた</li> <li>・読み聞かせの本選びをしていくことで、本を知ることが楽しい。こ</li> <li>・人のやぐに立っていることがうれ</li> </ul> <p>4年生になる自分へのメッセージを書こう</p>	<p>三年○組のみんなのよさの表</p>	<p>◎2年生が喜んでくれたのは、どうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちががんばってやったからではないか。</li> <li>・ウオーケラリーが楽しかったからではないか。</li> <li>・自分の「よさ」は声の大きなところだと思えます。大きな声でウオーケラリーの司会ができました。</li> <li>・あまり2年生が来なかったのに、説明がでしなかつた。</li> <li>・この次も司会をがんばります。</li> </ul> <p>これからの自分</p>
---	----------------------	--

3年〇組のみんなのよさ

(学習)

- ・かん字テストがよかった。
- ・運動しんけいがいいところ
- ・字がていねいなところ
- ・しんけんなところ
- ・先生の言うことを聞く。
- ・ちゃんとはっぴょうしている。
- ・いつもはっぴょうしている。
- ・足がはやい。

(生活)

- ・友だちとなかよくなれるところ
- ・はじめての子でもすぐになかよしになるところ
- ・大きなこえがいい。
- ・元気なところ
- ・おもしろいところ
- ・しんせつ・やさしい  
〇〇をかしてくれた。  
きゅう食のときおとしたものをあらってくれた。  
かかりの仕事をてつだってくれた。  
体育の時間「がんばれ」と言ってくれた。  
そうじをてつだってくれた。  
あそんでくれた。  
先生のつくえを一人ではこんでいたら、てつだってくれた。  
わすれものをしたときかしてくれた。  
落とし物をひろってくれた。  
ほけん室につれて行ってくれた。  
休み時間にいっしょに走ってくれる。  
わからないところを教えてくれる。
- ・「ありがとう」がしっかり言える。
- ・帰りの会のときのよういがはやい。
- ・ママのりょうりをてつだうこと